

若年成人における歯周疾患、咀嚼機能と栄養摂取との関連性に関する研究のお知らせ

神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

| | |
|-------|---|
| 研究期間 | 2022年11月7日～2024年9月30日 |
| 研究課題 | 若年成人における歯周疾患、咀嚼機能と栄養摂取との関連性 |
| 研究の概要 | <p>目的及び意義：「歯科」と「栄養」は密接に関連しており、近年、若年成人の歯周疾患、不規則な栄養摂取状況が課題となっている。歯周疾患は健口→歯肉炎→歯周病と連続的に進行する。歯肉炎から健口は可逆的であるため、若年成人に多くみられる歯肉炎の段階で適切な栄養摂取を行えば健口状態に回復できると考えられる。</p> <p>本横断研究の目的は、若年成人における、1)歯肉炎、歯周病および咀嚼機能低下の有病状況、2)健口、歯肉炎、歯周病の段階における咀嚼機能との関連性および、3)健口、歯肉炎、歯周病の段階における食品群、栄養素の摂取状態との関連性を検証し、歯周疾患の早期予防に関連する食品群および栄養素を特定することである。</p> <p>本研究は、歯肉炎から健口への可逆的回復、歯周疾患予防の栄養学的アプローチに寄与する。</p> <p>対象：以下の基準を満たすものを研究対象者として選定する。(110名)</p> <p>(選定基準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20、30代の神奈川県立保健福祉大学および昭和大学に在籍する教職員、職員、大学院生(外国人は除く) <p>(除外基準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「同意確認文書」の内容に関して、本人からインフォームド・コンセントが得られない者 ・基礎疾患がある者 ・顎関節症および開口障害の症状がある者 ・昭和大学歯学部、神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科に在籍する教員および大学院生 <p>方法：若年成人における咀嚼機能、歯周疾患および栄養摂取状況との関連性を検証するために、質問票調査、口腔内診査および咀嚼機能検査を行う。</p> |
| 研究組織 | <p>【研究代表者】</p> <p>神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 助教 久保田 悠</p> <p>【研究分担者】</p> <p>神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 准教授 遠又 靖文</p> <p>昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門 教授 弘中 祥司</p> <p>昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門 講師 渡邊 賢礼</p> |

| | |
|------------------|--|
| 個人情報 の 取扱い | <p>本研究の実施にあたっては、ヘルシンキ宣言、「個人情報の保護に関する法律」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」および本研究計画書の記載を遵守し、協力者の人権、福祉および安全が最大限に確保される。</p> <p>本研究における個人情報は、紙面および電子媒体から取得されるものであり、録音、録画、逐語録等は含まれない。取得した個人情報は、研究参加者の同意を得て、個人が特定されないように個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報を削除し、識別コードが作成され、個人情報管理者の下で保管される。</p> <p>本研究のデータは、研究分担者にも提供される。データは、研究代表者、研究分担者および同学科、部門の教員および大学院生のみがアクセスおよび分析できるものとする。</p> <p>共同研究機関（昭和大学）における安全管理措置や個人情報移動等の際の情報の受け渡しは、パスワードを設定する等のセキュリティ対策を講じたうえ、運送業者と受取人が対面での確認を要する書留での送付、または本研究に携わる研究者同士で直接手渡す形式で対応する。</p> |
| その他 | |

対象となる方で、研究の内容や、ご自身の検査結果などの研究への使用に関して、より詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

〔問い合わせ先〕

研究代表者：ヘルスイノベーション研究科 助教 久保田 悠

TEL：044-589-8100（代表）